

環境調査結果のお知らせ

令和6年10月7日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で332,000 cells/mL確認されました。大谷漁港内から潮ばかり公園堤防前にかけて、ヘテロシグマ・アカシオによる赤潮が確認されています。今後、野見湾漁場へ広がるおそれがありますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)		
A ガラク (8m) 【11:10】	0	27.3	32.6	6.5	10	4
	2	27.0	32.9	6.0	5	10
	5	26.9	33.0	5.8	0	0
	10	26.8	33.2	5.7	0	0
	底層 16	26.6	33.4	5.9	-	-
B 勢井 (3.2m) 【11:47】	0	27.6	28.2	8.3	12,000	40
	2	27.3	32.6	7.4	17,300	70
	5	27.0	32.9	5.7	400	80
	10	26.7	33.1	5.0	0	4
	底層 18.5	26.5	33.4	5.4	-	-
C 馬の背 (5m) 【11:57】	0	27.8	32.3	8.8	11,100	6
	2	27.3	32.5	8.0	750	10
	5	26.9	33.0	5.5	0	0
	10	26.8	33.1	5.6	0	0
	底層 23.5	26.4	33.5	4.9	-	-
D 大室戸 (6.8m) 【10:21】	0	27.4	32.3	7.1	1,250	100
	2	27.2	32.6	7.0	3,000	0
	5	26.9	32.9	5.3	50	0
	10	26.9	33.0	5.2	0	0
	底層 21	26.5	33.4	5.3	-	-
E 白浜 (8m) 【10:43】	0	27.3	32.2	6.5	0	0
	2	27.1	32.5	6.6	-	-
	5	27.0	32.9	5.6	0	0
	10	26.8	33.1	5.1	-	-
	底層 16	26.7	33.2	5.0	-	-
F 湾奥ブイ (3m) 【10:03】	0	27.6	32.2	9.2	18,300	10
	2	27.4	32.4	8.4	1,900	40
	5	27.0	32.9	6.1	0	30
	10	26.8	33.1	4.8	0	0
	底層 16.5	26.4	33.4	4.6	-	-
G 大谷漁港内 (1.2m) 【09:55】	0	27.8	31.6	10.2	130,000	0
	2	27.4	32.4	8.6	-	-
	5	27.1	32.9	5.6	50	150
	底層 10	26.7	33.1	4.4	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)		
1 須崎木材工業団地 前 (2.2m) 【11:33】	0	27.8	26.0	9.0	0	2,800
	2	27.3	32.6	7.0	-	-
	5	26.9	33.0	5.8	0	20
	10	26.8	33.2	5.6	-	-
	底層 13.5	26.7	33.2	5.6	-	-
2 防波堤内側 (6.2m) 【11:24】	0	26.5	16.8	8.1	7	2,000
	2	27.2	32.5	7.1	-	-
	5	27.0	32.8	6.5	0	0
	10	26.8	33.1	6.0	-	-
	底層 13	26.7	33.2	5.8	-	-
3 潮ばかり公園 堤防前	0	-	-	-	332,000	-
H 野見漁協前 (1m) 【09:59】	0	28.0	25.3	14.6	154,000	0
	2	27.3	32.4	10.4	-	-
	底層 5	27.0	33.0	5.4	40	80



- A: ガラク E: 白浜 1: 須崎木材工業団地前
 B: 勢井 F: 湾奥ブイ 2: 防波堤内側
 C: 馬の背 G: 大谷漁港内 3: 潮ばかり公園堤防前
 D: 大室戸 H: 野見漁協前

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオチカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。